

第7回 日本社会人選手権水泳競技大会監督者会議資料

1 競技について

- (1)本競技会は、2024年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2)競技は、予選・決勝ともに8レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3)女子800m自由形・男子1500m自由形はタイムレース決勝とし、最終組は決勝時間帯に行う。それ以外の種目は、予選・決勝を行う。ただし、予選参加者が8名以下の場合は、直接決勝とする。
- (4)決勝は、予選の結果上位8名が出場できる。ただし、棄権者(棄権チーム)が出たときは、次点上位から順次出場権を与える。
- (5)決勝進出について、同記録で予定人員を超えた場合、200m以下の種目はスイムオフを行う。400m・リレー種目については抽選を行う。(ランキング発表後15分以内で)
- (6)補欠は2名(2チーム)とし、補欠が同記録で複数いる場合は、抽選を行う。(ランキング発表後15分以内で)
- (7)招集は競技開始10分前から行う。本人確認のため、招集所にはADカードを持参すること。招集の際に水着の確認を行う。
- (8)予選を棄権する場合は、所定の用紙を当該競技当日の予選競技開始20分前(9:10)までにリゾリューションデスクに届け出ること。時間内に届け出を行わなかった場合は、棄権料個人3,000円、リレー競技5,000円を徴収する。また、無断で棄権した場合は、さらに罰金3,000円を徴収する。決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、予選競技終了後1時間以内に、棄権料個人3,000円、リレー5,000円を添えてリゾリューションデスクに届け出ること。
女子800m・男子1500m自由形予選は、組み換えを行うことがあるので、監督者会議終了時に届け出ること。
- (9)競技成立後は、折返監察員の指示によりプール横から退水すること。(決勝1位の選手も同様)
- (10)800m自由形・1500m自由形の周回通知は、周回版を使用しコールは行わない。
- (11)公式計時SEIKOによる計時バックアップは、半自動計時装置を使用する。
- (12)ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (13)選手紹介は、予選は各レーンで、決勝は入場ゲートで選手紹介を行う。なお、決勝に出場する選手は、氏名、所属名の通告を受けてから入場すること。
- (14)リレーオーダー締め切りは、予選10:00、決勝初日16:00、2日目15:00とする。
- (15)本競技会は上訴審判団を設置する。
- (16)本競技会は、日本アンチドーピング規定が適用されるので、常にADカードを携帯すること。
- (17)本競技会は上訴審判団を設置する。

【八塚明憲、山根一寿(2日)、壺岐ひろみ、三浦誠、田中潔】

2 表彰について

- (1)1位から3位にメダルならびに賞状を授与し表彰する。4位から8位に賞状を授与する。
- (2)賞状の贈呈は、選手受付で行う。

3 全体スケジュール

| 期日 | 事項 | 開門時間 | 予選競技 | | 決勝競技 | | 閉門時間 |
|----------|-------|-------|--------------------|-------|-------|-------|-------|
| | | | 開始時間 | 終了予定 | 開始時間 | 終了予定 | |
| 11月2日(金) | 公式練習日 | 13:00 | 練習時間 13:00 ~ 18:00 | | | | 18:30 |
| 11月2日(土) | 1日目 | 7:30 | 9:30 | 14:00 | 15:00 | 18:45 | 19:30 |
| 11月3日(日) | 2日目 | 7:30 | 9:30 | 13:00 | 14:00 | 16:50 | 17:35 |

開会式 11月2日(土)9時15分～ 閉会式 11月3日(日)決勝終了後

4 プールの使用について

(1)メインプール

- ① 水深は2m、水温は 27.5℃に設定する。
- ② 練習は、競技開始 15 分前までとする。1日目は開会式があるため 20 分前とする。
- ③ 昼休みの練習は、当日の決勝(タイムレース決勝最終組を含む)の出場者とする。
- ④ 練習時のレーン設定
0・9レーン:ダッシュレーン、1レーン:ペースレーンとする。ただし、0レーンは折り返し側からのスタート、9レーンはスタート側からとし、一方通行とする。
- ⑤ 公式スタート練習は、公式練習日、大会当日とも行わない。
- ⑥ パドル、コード類の使用は禁止する。

(2)サブプール

- ① 水温は 27.5 度に設定する。
- ② ダッシュレーンは設定しない。
- ③ パドル、コード類の使用は禁止する。
- ④ ホイッスルの使用は禁止する。

5 施設への入館・退館について

- (1)本大会は、ADカードを持っている選手・付添者は全館、ADカードを持っていない一般観客は2階観覧席以外は入館できない。
- (2)観覧席では選手席・付添席と一観覧客席のエリア設定は行わない。ただし、選手・付添者についてはグループ分けを行いしてされたエリアを控え場所とすること。(プログラムに記載)
- (3)選手・付添者と一般観客の入退場は、1階入口とする。

6 施設の使用について

- (1)館内にいるときは、ADカードを常時首から下げて着用すること。また入退場に際しては、ADカードを提示し、係員の指示に従うこと。選手が AD カードを紛失した場合は、有償(3,000 円)にて再発行を受けること。ただし管理者、付添者のADカードは再発行しない。
- (2)「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (3)水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、自分専用の物を用意し共用しないこと。したがって、室内履き、マイタオル・ハンカチ、脱いだ服を入れる袋のほか、必要であれば自分専用のストレッチマット等を持参すること。
- (4)マッサージベッドは、ミューカルがくと館(2日・3日)のマッサージエリアに1チームにつき1台置くことができる。
- (5)招集所には、招集を受ける選手以外は立ち入ることはできない。
- (6)更衣室は更衣のみの使用とし、更衣室内を控え場所としたり、飲食をしたりすることはできない。置き荷物は、忘れ物として扱う。また競技会終了後、残った忘れ物は処分する。
- (7)プール施設の更衣室～プールサイドは土足厳禁とする。

7 注意事項、その他

- (1)競技終了後、インタビューの要請を受けた選手は、取材を受けること。
- (2)公式掲示板を、1階入口付近に設置する。
- (3)盗難防止のための貴重品の保管については、各自の責任において管理すること。
- (4)プログラム(予選スタートリスト入り)は、1部 1,500 円、決勝スタートリストは、1部 200 円とする。
- (5)競技結果を、下記の公式サイトで確認することができる。
 - ① SEIKO競泳リザルト速報サービス(<http://swim.seiko.co.jp/>)
 - ② 日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<http://sp.j-swim.jp/>)